

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-41	中学校	外国語	英 語	1～3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
11 学図	英語 729/英語 829/英語 929	TOTAL ENGLISH		

## 1. 編修の趣旨及び留意事項

本教科書は「教育基本法」「学校教育法」「中学校学習指導要領－外国語(英語)」(平成20年3月告示)に準拠し、その要点に十分に意を用い、以下に述べる本教科書の編修に際しての基本方針に即して作成した。英語の言語構造・語句・発音などの基礎的な理解力と表現力、英語運用能力を十分に培うとともに、国際社会に生きるために必要な資質を養うという観点から、英語によるコミュニケーション能力の育成と国際理解の基礎を養うことに留意した。

## 2. 編修の基本方針

- (1) 聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。
- (2) 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深める。
- (3) 題材選択の主眼を ① We Love People. ② We Love the Earth. ③ We Love Languages. の3つに据える。  
また、国際語となった英語という観点から、取り上げる題材を英語文化圏だけでなく、できるだけ幅広く他の地域からも求める。そして単に言語面のみならず、背景にある文化・社会・生活面にも視点を広げ、英語を媒介として日本とは異なる言語・文化・社会に対する理解や共感を深めることができるような題材を提供する。
- (4) 言語の機能面の学習に重点をおきつつ、生徒にとって身近でわかりやすい場面設定に配慮する。
- (5) 自学自習に役立つ情報を随所に配し、生きる力の源泉ともいべき生徒の自己学習力を啓発する。

## 3. 対照表

1年 図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
世界の国からこんにちは Pre-lesson Let's Start	「国際社会の平和と発展に寄与できる態度を養う」という趣旨を達成するための第1歩として、「世界の国からこんにちは」や「自己紹介」「あいさつをしよう」などの活動を設けた。(第五号)	pp.②-③ pp.6-7, p.18
Chapter 1 Lesson 1, Word Tree , Lesson 2, Action!, Lesson 3, Word Tree, Chapter 1 Project	「国際社会の平和と発展に寄与できる態度を養う」という趣旨を達成するための次のステップとして、人と知り合う際の会話として、相手の好みを尋ねたり、それに答えたりする題材を取り上げた。(第五号)	pp.20-25, 30-36, 38-44, pp.46-47
Chapter 2 Lesson 4, Word Tree, Lesson 5, Word Tree, Action!, Lesson 6, Talking Time, Chapter 2 Project, Reading 1	「伝統文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重」という趣旨に沿うように、日本の伝統的なものを紹介したり、日本の学校と外国の学校との違いを学んだりする題材(国際理解)を取り上げた。(第五号)	pp.52-58, pp.72-78,
Chapter 3 Lesson 7, Action!, Word Tree, Lesson 8, Talking Time, Chapter 3 Project, Reading 2	「伝統文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重」という趣旨に沿うように、おせちや書き初め、月の模様をウサギに見立てる日本や、外国ではどのように見られているかなどの題材(国際理解)を取り上げた。(第五号)	pp.88-94, pp.100-106
Chapter 4 Lesson 9, Talking Time, Chapter 4 Project, Reading 3, Book 1 Project	オーストラリアの有袋類や特有の動物が野生動物保護区や国立公園で生息していることを紹介する題材を取り上げることで、「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」の一端を担えることを目指した。(第四号)	pp.116-122

2年 図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Chapter 1 Pre-lesson, Lesson 1, Word Tree, Lesson 2, Action!, Chapter 1 Project	日本の伝統的なスポーツである相撲を取り上げることで、生徒の「伝統文化を尊重する」態度をはぐくむことを意図した。(第五号)	pp.8-15
Chapter 2 Lesson 3, Word Tree, Lesson 4, Talking Time, Chapter 2 Project, Reading 1	中学生がロンドンのおばの家にいき、様々な体験をするという課や、旅行の計画を立てる表現の課などを設けた。これは、英語学習の動機付けとなることと、生徒が海外に出ることに興味を持つことで、最近問題となっている、海外に出たがらない内向き志向の若者の増加を抑え、将来「国際社会の平和と発展に寄与する」ことができる若者を育てる一助となることを意図した。(第五号)	pp.34-43, 58-60 61-64
Chapter 3 Lesson 5, Action!, Lesson 6, Talking Time, Chapter 3 Project, Reading 2	職業体験を扱った課や、それを受けて「将来の夢」と題した将来なりたい職業について書く活動を設けている。これは、「自主及び自立の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと」を意図したものである。(第二号) 環境問題を扱う課を設けて、「環境の保全に寄与する態度を養うこと」を意図した。(第四号) 『泣いた赤鬼』を題材とすることで、「豊かな情操と道徳心を培う」ことを意図した。(第一号)	pp.68-75, 88-91  pp.78-85  pp.92-95
Chapter 4 Lesson 7, Lesson 8, Word Tree, Talking Time, Chapter 4 Project, Reading 3, Book 2 Project	世界遺産の自然遺産や文化遺産を取り上げることで、「生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと」を意図した。(第四号) 「正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」とはどのようなことを学ぶことができる教材として、マザー・テレサの伝記を取り上げた。(第三号)	pp.102-109   pp.124-127

3年 図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Chapter 1 Pre-lesson, Lesson 1, Action!, Word Tree, Chapter 1 Project	「健やかな身体を養う」という観点で食育を題材として取り上げた。(第一号) 修学旅行で訪問する奈良・京都について事前調査をする、という題材や日本の伝統文化を紹介する文章を書く活動を取り上げることで「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する」心をはぐくむことを意図した。(第五号)	pp.6-7  pp.8-15, 20-21
Chapter 2 Lesson 2, Talking Time, Lesson 3, Chapter 2 Project, Reading 1	アラスカの自然やその海域に生息するクジラを取り上げたり、エネルギー問題がテーマの Reading で環境について学んだりすることで、「生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと」を意図した。(第四号)	pp.36-39, 50-53
Chapter 3 Lesson 4, Lesson 5, Talking Time, Lesson 6, Chapter 3 Project	ブータンで農業指導に尽力した西岡京治の活動や歌を通して差別や人権問題に立ち向かっているスティービー・ワンダーの半生を題材にすることで、「正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」の一助となることを意図した。(第三号)	pp.58-65, 64-71
Chapter 4 Lesson 7, Talking Time, Chapter 4 Project, Reading 2, Book 3 Project	生徒と同じ年頃の少女が書いた『アンネの日記』を読むことで、いかなる状況においても差別は許されることではないこと、決して戦争をしてはいけないということを改めて心に刻み、「他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」を意図した。(第五号) 親子がカナダガン育て、渡りを助ける Reading 教材を取り上げることで「生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと」を意図した。(第四号)	pp.98-105   pp.114-119

## 4. 本書の構成と内容

第1学年は、Pre-lesson, Let's Start, 4つのChapterと付録から成る。2年と3年は、Pre-lessonと4つのChapter, 付録からなる。

### (1) Pre-lesson

第1学年のPre-lessonは「会話を聞いてみよう」「クラスメートと自己紹介をしよう」「自己紹介をしよう」の4ページから成り、いずれも“Hi, friends!”をはじめ、ほとんどの小学校外国語活動で取り上げられている題材を採用した。この活動を通して、教師は、教科としての英語に対する生徒の不安を取り除くとともに、生徒のコミュニケーション能力の素地がどの程度養われているかを把握できる。外国語活動から教科としての英語への橋渡しのコーナーとして設けた。2年と3年のPre-Lessonは前学年までの復習のコーナーとして設けた。

### (2) Let's Start

Pre-lessonに続き、中学校の教科としての英語への導入段階として設定した。いきなり「読む・書く」活動をさせるのではなく、「聞く・話す」活動を主に行いながら、段階を踏んで、少しずつ「読む・書く」活動を取り入れていくことを意図した。

#### ①The Alphabet (pp. 8-9)

本格的な英語の読み書きの第一歩と位置づけて2ページで構成した。Alphabet 26文字の大文字と小文字の両方を4線にブロック体で提示し、生徒にとって身近で親しみやすい単語を選び、イラストとともに掲載した。A, C, E, G, I, O, Uには、発音と綴りの関係を考えて2つの単語を提示した。

#### ②つづりと発音 A (pp. 10-11)

子音+母音+子音の単音節で、5種類の短母音の単語を提示することで、綴りと発音を関連づけて指導できるように配慮した。

#### ③つづりと発音 B (pp. 12-13)

つづりと発音 A では、単語の発音を聞くことと綴りを認識する活動を主としているが、Bでは、単語を聞いて書いたり、絵を見てその意味を表す単語を書いたりする活動を主としている。

#### ④身の回りの英語 (pp. 14-17)

生徒の身の回りにあるものを絵で示し、英語を聞かせ、日本語と英語の音の違いに気づか

せるようにした。聞くことと発音することに重点を置いた活動であるが、イラストに綴りを添えることで、上記②と③の活動に続き、文字に慣れることができるように配慮した。

#### ⑤あいさつ (p.18)

小学校の「話す・聞く」活動で慣れ親しんでいる挨拶の主な表現を、吹き出しに文字を添えることで、「話す・聞く」活動に加えて「読む」ことも意識させる活動として設けた。

### (3) Chapter

Chapterは、Chapter 扉, Lesson と Chapter Project 及び、Chapter によってその構成は異なるが、Action!, Word Tree, Talking Time, Reading の各コーナーから成る。

#### Chapter 扉 (1頁)

生徒の英語への興味・関心を呼び起こし、授業に対する意欲を高め、なおかつ生徒が見通しを持って学習ができるように以下のものを配置した。

- 1) 各 Lesson のタイトルとそのテーマを表すイラストまたは写真、及び各コーナーのタイトル
- 2) Chapter で学習する表現(左が Lesson で、右が各コーナーで学習する表現)

### (4) Lesson

LessonはSectionとReviewから成る。

#### ①Section

1 Sectionを見開き2頁構成とし、左頁に本文、右頁に目標文とActivitiesを配置した。

##### 【左頁】

#### 1) 本文にいたる場面や状況を説明

Lesson Titleの下に、本文の場面や状況、本文にいたる背景がわかるように提示した。

#### 2) Section タイトル

Sectionの場面や内容を理解するヒントとなるように設けた。生徒の発達段階を考慮して、1年と2年は日本語、3年は英語とした。

#### 3) Question

新出語欄の上に本文の内容理解のヒントとなるようなQuestionを1題ずつ設けた(1年のLesson 5までは日本語、それ以降は英語)。

#### 4) 新出語と短縮形、連語 (脚注)

3 学年で学習する新出単語の中から重要単語 600 語を選び、太字で提示した。1 年では新出単語のアクセント記号のみを、2 年・3 年では発音記号を併記した(1 音節の単語はアクセント記号を省略した)。また、新出ではないが意味が大きく異なる場合には、改めて提示して単語の右肩に◆を付した。新出語の後に短縮形、その後に連語を提示した。

#### 5) 地名などの固有名詞や題材語 (脚注)

固有名詞や題材語については、新出語の下の ----- の下に意味を付して提示した。

#### 6) Tips (上記 5) の下の電球のアイコン)

コミュニケーションを円滑に進めるために、知っておくための情報提示した。

#### 7) つづりと発音 (脚注の下)

綴りと発音を関連づけて指導できるように、また、生徒が綴りと発音の関係に気がつくように工夫して提示した。原則として、既習語を先に、新出語を最後に提示している。

#### 【右頁】

#### 目標文

目標文の配列は「易から難へ」を原則とした。目標文の作成に当たっては、それを習得し運用できるようになるために、わかりやすい例文を提示することを心掛けた。また、目標文の機能を易しく併記した。

#### Activities

基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるための活動として設けた。

#### 1) Listening

目標文を含んだ会話や文章を聞き取り、理解できているかどうかを確認するための活動。

#### 2) Speaking

ペアやグループ、クラス全体で英語を話す・聞く活動をとおして、目標文の運用能力を身につけるための活動。

#### 3) Writing

主に上記 Speaking 活動で話した目標文を含んだ文を書く活動。

#### 4) Listen & Repeat

文強勢と、語と語の連結等による音変化に焦点をあて、聞き取ることに慣れ、英語らしく話すことができるようにする活動。

#### ②Review

基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるためのコーナーとして設けた。各 Section の目標文を中心とした重要表現を確認・復習するコーナーであり、繰り返し「聞き、読み、話し、書く」ことで定着率を高められるように工夫した。1 年は次の 1)～3) の 1 頁構成とし、2 年と 3 年は、1)～3) を Review ①とし、これに加えて 4) と 5) を Review ②として見開き 2 頁構成とした。

#### 1) Listening

Lesson の各 Section の目標文を中心とした重要表現を言語材料にして、話の要点、概要、内容を聞き取る能力を高めるための Listening 活動として設定した。

#### 2) Speaking

各 Section の目標文を中心とした重要表現を使用した会話文の穴埋め問題で復習・確認できるようにした。完成した後、ペアで話す活動につなげて定着率を高められるようにした。

#### 3) Writing

英語と日本語の語順の違いを意識させ、その違いに慣れさせるというねらいから、日本語を参照しながら、各 Section の目標文を中心とした重要表現を使用した会話文の語順整序を行う活動とした。完成した後、ペアで話す活動につなげることができる。

#### 4) Reading

各 Section の目標文を中心とした重要表現と既習語だけを言語材料とし、Lesson の題材と関連したテーマで書き下ろした文章を読む活動を設けた。いわゆる「初見」の英文の内容理解ができるかどうかを確認することと、読むことに慣れることをねらいとしている。

#### 5) Writing

各 Section の目標文を中心とした重要表現を使った Q&A 形式の Writing 問題とした。上記 3) Writing が語順を意識させ、基礎的・基本的な知識・技能の習得を確認するための設定としているが、こちらはそれを一歩進め、自分で考えて書くことにより、習得をさらに確実なものとし、自己表現につなげられることをねらいとした。

## (5) Chapter Project

Lesson, Action!, Word Tree, Talking Time で習得した、目標文や重要表現、語彙などを使って自己表現をする、Chapter の目標として設定したコーナーである。それぞれのテーマについて、Step 1, Step 2 と段階を踏んで、聞いたり、話したり、読んだり、書いたりする過程を経て、Final Step で完成させるという構成にしている。テーマは、Lesson の題材や言語材料に関連させながら、なおかつ生徒にとって興味のあるものを取り上げた。Chapter の各コーナーで習得した基礎的・基本的な知識・技能を活用して、表現する力を身に付けることをねらいとした。

## (6) Action!

目標文を、言語活動を通して習得するコーナーである。ペアやグループ、クラス全体で Step 1, Step 2 と段階をおって活動することによって、習得・運用できるように工夫している。Listening 活動も設けている。

## (7) Word Tree

曜日、月、季節の名前などのように、まとめて学習したほうが効率的に習得できる単語を集めて掲載したコーナーである。Step 1, Step 2 と活動を通して何度も使用することによって定着率を高められるように工夫している。Listening 活動も設けている。

## (8) Talking Time

言語の使用場面の中で、特有の表現がよく使われる場面を選び、対話形式で提示した。それらをコミュニケーションの場で生かせるように、言語活動を通じて習得し、運用できるように工夫している。Listening 活動も設けている。

## (9) Reading

1年には日常生活を描写したもの、説明文と物語の3編を、2年には説明文、物語と伝記の3編を、3年には説明文と映画から書き起こした物語の2編を収録している。あくまでも読むことに重点を置いた活動ができるように、既習の文型・文法事項のみで構成している。Section ごとに Task を設けることによって、読解力を高め、読む活動から表現する活動につなげることがで

きるように工夫をした。

## (10) Book Project

各学年の本課の最後に、Chapter Project と同じ形式の表現のコーナーを設けた。Book 3 Project は1年から3年の英語学習の総まとめの表現活動として設定した。

## (11) 付録

### ①Check It Out

目標文を中心とした学習事項を、原則として Chapter ごとにまとめ、系統的に整理して掲載した。学習が一段落した段階で、生徒が重要事項を体系的に復習できるようにした。また、語順や修飾関係における英語と日本語の違いに気づかせるように配慮した。文法用語の使用は極力避け、文の機能に着目できるように各項目の見出しを工夫した。例文はすべて既習語によるものとした。

### ②英語の歌

授業への導入や生徒の英語への興味・関心を引き出す教材として、各学年3曲を各学期に1曲の配分で掲載した。選曲に当たっては、歌いやすさ、題材との関係、言語材料との関係などを考慮した。

### ③More Words

言語活動の幅を広げるための参考資料として巻末に設けた。ここで扱っている単語については、あくまでも活動の際の参考として提示したもので、覚えることを前提としていない。

### ④その他の資料

1年には「つづりと発音」「目標文のまとめ」、「ローマ字」、2年には「つづりと発音」「不規則動詞変化表」「形容詞・副詞の変化表」「目標文のまとめ」、3年には「つづりと発音」「不規則動詞変化表」「形容詞・副詞の変化表」「基本単語のまとめ」「目標文のまとめ」を掲載している。

### ⑤ミニ辞典コーナー

辞書指導の第一歩として使用できるように、発音、品詞、語義、連語など、できる限り辞書に近い構成・記述にした。

以上

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 担当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-41	中学校	外国語	英 語	1～3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
11 学凶	英語 729/英語 829/英語 929	TOTAL ENGLISH		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### (1) 小学校外国語活動との円滑な接続

#### ① 小学校外国語活動で慣れ親しんだ活動からの導入

1 年の最初に Pre-lesson として小学校外国語活動で慣れ親しんできた活動を3つ(「会話を聞いてみよう」「クラスメートと自己紹介をしよう」「自己紹介をしよう」)設けた。この活動を通して、教師は、教科としての英語に対する生徒の不安を取り除くとともに、生徒のコミュニケーション能力の素地がどの程度養われているかを把握できる。

#### ② 文字(アルファベット)導入の工夫

「聞くこと」「話すこと」で活動してきた生徒に「読むこと」「書くこと」を導入する際は、分かりやすく丁寧な指導が必要であると考え、次の3つのコーナーを設けた。「The Alphabet」では Alphabet の名前と Alphabet が表す音の違いを認識させ、「つづりと発音 A」では“文字の表す音”→“音の足し算”→“単語が表す音”等、綴りと発音の関係を分かりやすく指導できるようにした。「つづりと発音 B」では、“文字を書く”→“単語を書く”, というように段階を踏んで指導できるようにした。

#### ③ 言語材料配列の工夫

##### 1) 一般動詞からの導入

小学校外国語活動で慣れ親しんできた表現 (I like... / Do you like...? / I don't like...) から導入することで、「教科としての英語」に円滑に接続できること、また、初期の段階から日常の会話に近いコミュニケーションが英語でできることにより、生徒の英語学習への動機付けや興味・関心を高めることができる。

##### 2) 1人称・2人称に絞った導入

小学校外国語活動で慣れ親しんできた活動は、ものを除いて1人称と2人称だけで行われる。導入期である Chapter 1(各学年4つの Chapter で構成)の言語材料は、一般動詞の1人称・2人称と be 動詞の1人称・2人称に絞っている。3人称については、「教科としての英語」への接続が軌道に乗っ

た後の Chapter 2 で扱う。この配列によって、段差のないスムーズな学習をすることができる。

### (2) 言語活動の充実

#### ① 基礎的・基本的な知識・技能を習得するための言語活動

Section を見開き2頁構成とし、右頁に目標文と目標文を習得するための Listening, Speaking, Writing などの活動からなる Activities を設けている。目標文がある Action! でも同様な言語活動を設けている。

#### ② 上記①の活動で習得した基礎的・基本的な知識・技能を活用して表現する言語活動

Chapter 末に、その Chapter で学習し、習得した目標文や重要表現を、実際に活用して書いたり話したりする表現活動、Chapter Project を設けている。

### (3) 繰り返し指導によるいっそうの定着が図れる構成

#### ① 本文で繰り返し使用

前の Section で学習した言語材料を、その後の Section やコーナーにできる限り盛り込み、繰り返し使用できるように配慮した。

#### ② Lesson 末の Review で復習・確認

Lesson で学習した言語材料をすぐに復習・確認することができる Review を設けた。1年は次の1)～3)の1頁構成、2・3年は1)～3)を Review①として左頁に、4)と5)を Review②として右頁に設け、見開き2頁構成とした。

1) **Listening**: 目標文を中心とした重要表現を言語材料とした英語を聞き、内容理解の活動を行う。

2) **Speaking**: 目標文を中心とした重要表現を、会話文の空所補充によって復習・確認し、その後ペアによる「話す・聞く」活動を行う。

3) **Writing**: 英語と日本語の語順の違いに慣れさせるため、日本語文を参照しながら、目標文を中心とした重要表現の語順整序を行う。

4) Reading : 目標文を中心とした重要表現と既習語のみを言語材料とし、かつ Lesson の題材と関連したテーマの文章を読む活動を行う。これによって、言語材料のより一層の定着が図れるほか、「初見」による英文読解力の養成を無理のない形で実現することができる。

5) Writing : 目標文を中心とした重要表現を使った Q&A 形式の Writing 活動を行う。上記 3) は語順を意識させ、基礎的・基本的な知識・技能の習得を確認するために設けているが、こちらは習得した言語材料や題材を自己表現に活用するための活動として設けたものである。

### ③各学年冒頭の Pre-lesson で前学年の復習・確認

1 年には小学校外国語活動で慣れ親しんできた表現を確認する Pre-lesson を設けている。2 年と 3 年には、前学年の目標文を中心とした言語材料等を復習・確認する Pre-lesson を設けた。これによって、学年間の連携ができるように配慮している。

### (4) 語彙の充実

4 技能すべての育成において、語彙力の強化が欠かせないという観点から、随所に Word Tree を設けて、語彙力の強化を図れるようにしている。Word Tree の特徴は、概念(notion)をもとに運用度の高い語句を配していること、意味にフォーカス

した言語活動をとおして語彙習得が図れるようにしていることである。

### (5) 4 技能の総合的な育成

1 年の Chapter 1 と 2 では、小学校外国語活動との円滑な接続を図るために「聞く」「話す」活動に重点を置きながらも、少しずつ「読む」「書く」活動を導入できるようにしている。その上で、Chapter 3 以降、2 年、3 年の言語活動については、「聞く」「話す」「読む」「書く」活動を偏ることなく設け、4 技能の総合的な育成ができるように配慮した。

### (6) 学習の見通しを立てたり学習を振り返ったりできる構成

Chapter 扉に Lesson や各コーナーのトピック、言語材料、目標を明記した。これにより、生徒は各 Chapter での学習の見通しを立てたり、学習を振り返ったりすることができる。また、教師は、

- 1) Chapter 扉で計画を立て(Plan),
- 2) Lesson や各コーナーで指導を行い(Do),
- 3) Review や Chapter Project で学習と指導の成果を評価し(Check),
- 4) 今後の指導に向けての処置・改善を行う(Action),

という“PDCA Cycle”を実践して、形成的評価による指導改善を図ることができる。

## 2. 対照表

### 1 年

A = Action! W = Word Tree T = Talking Time C = Chapter Project R = Reading B = Book 1 Project

(1)言語活動 ア=聞くこと, イ=話すこと, ウ=読むこと, エ=書くこと

図書の構成・内容		学習指導要領の内容			配 当 時 数	
課 ページ	課名 (該当箇所)	(1) 言語 活動	(2)言語活動の取り扱い			(3) 言語材料
			場面	働き		
Pre- lesson 4-7	会話を聞いてみよう	アイ	a	b d	3.0	
	クラスメートと自己紹介をしよう	アイ	a			
	自己紹介をしよう	アイ	a			
Let's Start 8-18	The Alphabet	アイウエ	a		イ (ア) アルファベットの大文字及び小文字	
	つづりと発音 A	アイウ				
	つづりと発音 B	アイウエ				
	身の回りの英語 A, B, C	アイウエ				
	あいさつをしよう	アイウ				エ (ウ) a 人称代名詞 (目的格 you)
1 20-25	I Like Soccer.	アイ	b	e	エ (イ) c (a) 主語+動詞+名詞 エ (エ) 動詞の現在形 (一般動詞) エ (ア) b 肯定および否定の平叙文 エ (ア) d do で始まる疑問文 エ (ウ) a 人称代名詞 (主格 I, you)	6.0
		ウエ				
W 29	数字	アイウエ		e	エ (ウ) a 人称代名詞 (所有格 your)	1.0

2 30-35	Do You Like Animals?	アイ ウエ	b	e	エ (ア) d how many で始まる疑問文 エ (ア) d what で始まる疑問文 エ (ウ) a 人称代名詞 (目的格 me)	7.0
A 37	指示通りに動いてみよう	アイ			エ (ア) c 肯定及び否定の命令文	1.0
3 38-43	Hello, Everyone.	アイ ウエ	a	e	エ (イ) b (a) 主語+be 動詞+名詞 エ (イ) a 主語+動詞 エ (エ) be 動詞の現在形 (am, are) エ (ア) b be 動詞の肯定及び否定の平叙文 エ (ア) d be 動詞で始まる疑問文	7.0
W 45	調子はどう?	アイ	b	a d	エ (イ) b (a) 主語+be 動詞+形容詞	1.0
C 46-47	自分のことを伝えよう	アイウエ	b	c b		3.0
4 52-57	Nice to Meet You.	アイ ウエ	a	e c b	エ (エ) be 動詞の現在形 (is) エ (ウ) a 人称代名詞 (主格 he, she, it) エ (ウ) a 人称代名詞 (所有格 my) エ (ウ) a 指示代名詞 (this, that)	7.0
W 60-61	1 週間	アイウエ	b	e c		2.0
5 62-67	Ms. Allen's Family	アイ ウエ	b	e c	エ (エ) 動詞の現在形 (3 人称単数) エ (ア) d who で始まる疑問文	7.0
W 69	短い? 長い?	アイ	b	c		1.0
A 70-71	何時ですか?	アイ	b	e c	エ (ア) d what time で始まる疑問文	2.0
6 72-77	Junior High School in the U.S.	アイ ウエ	b	e c a d	エ (イ) c (a) 主語+動詞+代名詞 エ (ア) d where で始まる疑問文 エ (ウ) a 人称代名詞 (主格 they, we) エ (ウ) a 人称代名詞 (所有格 our, his, their) エ (ウ) a 人称代名詞 (目的格 him, her, it, us)	7.0
T 79	校舎を案内しよう	アイ	b	e c a	エ (ア) a 重文	1.0
C 80-81	〇〇さんを紹介しよう	アイウエ	a	c b	エ (ウ) a 人称代名詞 (所有格 her)	3.0
R 82-83	アレン先生の 1 日	アイウエ	b	c		2.0
7 88-93	New Year	アイ ウエ	b	c e	エ (ア) d when で始まる疑問文 エ (ア) b can を使った肯定及び否定の平叙文 エ (ア) d can で始まる疑問文 エ (ア) d how で始まる疑問文	7.0
A 96-97	だれのもの?	アイ		d b	エ (イ) b (a) 主語+be 動詞+代名詞 エ (ア) d whose で始まる疑問文 エ (ウ) a 人称代名詞 (独立所有代名詞 mine, yours, his, hers, theirs, ours, yours)	2.0
W 98-99	季節と月, 月日の言い方	アイウエ	b	c e		2.0
8 100-5	The Moon and the Stars	アイ ウエ	a	e c	エ (エ) 現在進行形 エ (ア) d which で始まる疑問文	7.0
T 107	ファストフード店で	アイ	a	e b	エ (ア) d how much で始まる疑問文 エ (ア) d or を含む疑問文	1.0
C 108-9	写真の説明をしよう	アイウエ		c		3.0
R 110-12	Braille	アイウエ		c	エ (ウ) a 指示代名詞 (these, those)	4.0
9 116-21	A Letter from Australia	アイ ウエ	a	c e c	エ (エ) 過去形 (一般動詞の規則動詞) エ (エ) 過去形 (一般動詞の不規則動詞) エ (ウ) a 人称代名詞 (目的格 them)	7.0
T 123	会話をつなげよう	アイ		a		1.0
C 124-5	手紙を書こう	イウエ	a b	d b		4.0
R 126-9	Who Is Joey's Favorite Girl?	アイ ウエ		e c a		5.0
B 130-2	Show & Tell をしよう	アイウエ		c		4.0

## 2年

A = Action! W = Word Tree T = Talking Time C = Chapter Project R = Reading B = Book 2 Project

(1)言語活動 ア=聞くこと, イ=話すこと, ウ=読むこと, エ=書くこと

図書の構成・内容		学習指導要領の内容				配 当 時 数
課 ページ	課名 (該当箇所)	(1)言語活 動	(2)言語活動の取り扱い		(3) 言語材料	
			場面	働き		
Pre-lesson 6-7	Spring Vacation	アイウエ	a b	b d	1年生の復習	4.0
1 8-13	A Practice at a Sumo Stable	アイウエ	a	c e	エ (イ) 動詞の過去形 (be 動詞) エ(イ)b (b) 主語+be 動詞以外の動詞+形容詞	7.0
W 16	家族・親類	アイ		c		1.0
W 17	辞書を使ってみよう				3 指導計画の作成と内容の取扱い (1) カ	1.0
2 18-23	Gestures	アイウエ	b	a e c d	エ (イ) 過去進行形 エ (ア) a 複文(接続詞 when, that) エ (イ) c (a) 主語+動詞+that で始まる節	7.0
A 26-27	どこに何がある?	アイウエ		c e	エ (イ) f (a) There+be 動詞+～	2.0
C 28-29	日記を書こう	ウエ		c		4.0
3 34-41	Flight to the U.K.	アイウエ	a	c e b c	エ (イ) will を用いた未来表現 エ (イ) be going to を用いた未来表現	9.0
W 44-45	天気	アイ		c		2.0
4 46-53	Hiro in the U.K.	アイウエ	a	a e d	エ (ア) d Could you ～? (依頼する) エ (ア) d Shall I ～? (申し出る) エ (ア) d Would you like ～? (勧める) エ (ア) d May I ～? (許可を得る) エ (ア) b must や mustn't ～を使った文 エ (ア) d Shall we ～? (誘う) エ (ア) b have to ～やdon't have to ～を使った文	9.0
T 56-57	道案内	アイ	a b	a e c d		2.0
C 58-60	旅行の計画を立てよう	アイウエ	a	c e		4.0
R 61-64	English for International Communication	アウ		c		8.0
5 68-73	Career Experience	アイ ウエ	c	c e c c	エ (イ)c (a) 主語+動詞+to 不定詞 (名詞用法) エ (カ) to 不定詞 (副詞用法 〈目的〉) エ (カ) to 不定詞 (形容詞用法)	7.0
A 77	こんな気持ちになったわけ	アイ		c	エ (カ) to 不定詞 (副詞用法 〈原因〉)	1.0
6 78-83	The 3Rs in Germany and Japan	アイ ウエ	a	c c e c	エ (イ) c (a) 主語+動詞+動名詞 エ (イ) d (a) 主語+動詞+間接目的語+名詞 エ (ア) d why で始まる疑問文とその答え	7.0
T 86-87	電話でおしゃべり	アイ	a b	a e c d		2.0
C 88-91	将来の夢	アイウエ		c e		4.0
R 92-95	Red Demon and Blue Demon	アイ ウエ		c d		8.0
7 102-7	World Heritage Sites	アイウエ		c c c d	エ (オ) 形容詞の比較変化	7.0
8 110-5	Manga, Anime and Movies	アイ ウエ	b	a e c d	エ (オ) 副詞の比較変化 エ (ア) a 複文 (接続詞 if, because)	7.0
W 118	病気・けが	アイ	b	c c		1.0
T 119	体調を尋ねる	アイ	b	c c d		1.0
C 120-3	私の宝物	アイウエ	a b	c c d		4.0
R 124-7	Mother Teresa	アイウエ		c c		8.0
B 128-31	観光パンフレットを作ろう	アイウエ	b	d c c		4.0

### 3年

A = Action! W = Word Tree T = Talking Time C = Chapter Project R = Reading B = Book 3 Project

(1)言語活動 ア=聞くこと, イ=話すこと, ウ=読むこと, エ=書くこと

図書の構成・内容		学習指導要領の内容				配 当 時 数
課 ページ	課名 (該当箇所)	(1)言語活 動	(2)言語活動の取り扱い		(3) 言語材料	
			場面	働き		
Pre-lesson 6-7	Do You Eat Breakfast?	アイウエ	b	e c c c d	2年生の復習	4.0
1 8-13	Report for Our School Trip	アイ ウエ	b	c c b e	エ (イ) e (a) 主語+動詞+目的語+名詞 エ (ウ) 受け身 (現在形, 過去形)	7.0
A 16-17	Do You Know How to...?	アイ		c	エ (イ) c (a) 主語+動詞+how (など) to 不定 詞 エ (イ) d (b) 主語+動詞+間接目的語+how (など) to 不定詞	2.0
W 18-19	Scenery	アイウエ		c		2.0
C 20-21	日本の伝統文化を紹介 しよう	イエ		c c		4.0
2 26-31	Junior High School Club Life	アイ ウエ	b	a e a c b b b c	エ (エ) 現在完了形 (完了) エ (イ) e (a) 主語+動詞+目的語+形容詞	7.0
T 34-35	Shopping	アイ	a	d e e d b b		2.0
3 36-43	E-mails from Alaska and India	アイ ウエ	a	c e e d c d	エ (エ) 現在完了形 (継続, 経験) エ (イ) f It+be 動詞+~ (+for →) +to 不定 詞	9.0
C 46-49	インタビューをしよう	アイウエ	b	e a a d c		4.0
R 50-53	Energy and the Environment	アイ ウエ		c a d		7.0
4 58-63	Speech —A Man's Life in Bhutan	アイ ウエ		c c c c d b	エ (ウ) 現在分詞の形容詞としての用法 エ (ウ) 過去分詞の形容詞としての用法 エ (イ) f (c) 主語+tell, want など+目的 語+ to 不定詞	7.0
5 68-75	Stevie Wonder —The Power of Music	アイ ウエ		c c	エ (ウ) b 関係代名詞 (主格 who, which, that)	9.0
T 80-81	On the Phone	アイ	a	e d d b		2.0
6 82-87	Interesting Languages	アイ ウエ	a	c c c	エ (ウ) b 関係代名詞 (目的格 that, which) エ (ウ) b 関係代名詞の省略 (接触節)	7.0
C 90-93	尊敬する人についてス ピーチをしよう	アイ ウエ		c c d		4.0
7 98-105	The Diary of Anne Frank	アイ ウエ		c d	エ (イ) c (b) 主語+動詞+what などで始まる 節	9.0
T 108-9	Asking the Way	アイ	a	e c b		2.0
C 110-3	自分の意見を言おう	イウエ	b	d d d c		4.0
R 114-9	Fly Away Home	アイ ウエ		c	エ (ウ) 受け身 (未来表現)	10.0
B 120-22	私の人生	ウエ		c c c		4.0

以上